

長崎県のみさかえの園 あゆみの家からの研修生が来ました。

長崎県のみさかえの園 あゆみの家の理学療法士1名が3日間(2018/6/4~6)研修に来ました。今回は、前日の重症心身障害児のボバースアプローチ イントロダクトリー講習会を修了した直後だったため、講習会の内容を含めながら研修を行いました。

研修の全体の流れは、治療見学だけで終わらせずにその後時間を設け、臨床像やセラピーの目標、どのような考え方でアプローチを行ったのか、どのような反応がみられたか、どのようにアプローチを修正していったのか等を整理し、用いたハンドリングを練習するなどして、実践力を高めていきました。

【研修内容】

- ・オリエンテーション
- ・病棟見学
- ・病棟および外来治療見学(幼少~成人、CP、染色体、呼吸器使用等)
- ・クリニカルリーズニング
- ・ハンドリング練習(実技)
- ・車いす、姿勢保持具(腹臥位含む)見学
- ・講義: Scapula set・Foot core function・重症児の呼吸
- ・ケーススタディー

研修終了後にいただいた感想を紹介させていただきます。

- ・見学実習では未就学児から成人の方、またさまざまな疾患を見学また、実際に触り動かし、変化を感じることが出来た。
- ・前日の研修会にて学習した、アライメント・B.O.S.・ファンクションを治療の中で感じる事が出来た。
- ・仮説検証作業の大切さを感じた。
- ・講義や実技を実際に自分の体で変化を体験することが出来た。
- ・研修実習共にとても充実していてよかった。

上記のような感想をいただき、見学中心ではありますが、実際に「触る」「感じる」ことも体験してもらい、実りある研修と感じていただけたことはよかったと思います。

当院が小児の包括的リハビリテーション・療育施設のモデルとして外部に発信していけるよう、今後もこのような研修生の受け入れを積極的に行っていきたいと考えています。